

2 乳がんと診断され、通院による治療と仕事の両立を目指すも、疲労感が強く、いったん治療に専念することとした事例

Bさん	治療の状況		企業の状況		
	がん種	治療状況	企業規模	職種等	産業医等
40代 女性	乳がん	手術 放射線治療	中小企業	パートタイマー (百貨店グループ会社 店頭販売職)	嘱託産業医 1名

(1) 事例の概要

ア 基本情報

Bさんは、百貨店で店頭販売員（パートタイマー）として勤務する40代女性である。週5日勤務（土曜日・水曜日が休日）であり、1日当たりの所定労働時間は10時～18時（休憩1時間）の7時間である。セールなどの繁忙期は時間外労働が多く、休みがとりづらい。Bさんは経験年数が長く、人の出入りが多い職場で頼りにされる存在となっている。本社に嘱託産業医が1名おり、月1回会社に来訪し、従業員の面談等を行っている。

イ 両立支援を行うに至った経緯

Bさんが乳がん検診を受けたところ、がんが見つかった。治療については、入院して手術を行い、その後放射線治療、ホルモン療法をすることを主治医より提案された。手術のための入院期間は数日の予定であったため、Bさんは職場の上司に相談し、入院とその後の自宅療養期間については有給休暇を利用することとし、手術を受けることにした。手術は無事終わり、予定どおり退院できた。

その後の自宅療養期間中に、経過観察のため病院を受診したところ、主治医から、今後は放射線治療を行うこととするので、平日毎日の通院が必要であること、またこの治療は仕事をしながら行う人もいるとの話があった。早く仕事に戻りたいと考えていたBさんは上司に相談することとした。

相談を受けた上司としても、これから繁忙期を迎える時期であり、短時間でも仕事に戻ってきてほしいと考えていたところであったため、さらに産業医も交え、治療を受けながらどのように働くか、検討することとした。

(2) 様式例の記載例

ア 勤務情報提供書 【労働者・事業者において作成】

手術後の自宅療養中に、Bさんと人事、上司、産業医とで今後の働き方について話し合った結果、これからは繁忙期のため休憩がとりづらいこと、毎日通院が必要であることを踏まえ、放射線治療中は短時間勤務で働くプランを検討することとした。

話し合った案で問題がないかどうかについて、当面の治療スケジュールや治療による仕事への影響、体調管理のための注意点を主治医に確認する必要があると考えられたため、勤務情報提供書を通じて主治医に意見を求めることとした。

イ 主治医意見書 【医師において作成】

主治医は、勤務情報提供書に記載されている内容を踏まえ、Bさんに通勤や仕事の内容、復職に向けて悩んでいることについて確認した上で、勤務情報提供書に記載された質問内容を中心に、主治医意見書を作成した。

放射線治療は平日毎日の通院が必要となることから、通院への配慮が得られるよう、所要時間も明記した。立ち仕事で身体的負荷がかかることから、休憩等の配慮が望ましい旨を記載した。また、放射線治療後はホルモン療法を実施する予定であるが、副作用の症状や強さは個人差があり、現段階では望ましい配慮について意見ができないため、状況に応じた対応を求める内容とした。

ウ 職場復帰支援プラン 【事業者において作成】

○初回のプラン作成

主治医意見書を踏まえ、再度Bさんと人事、上司、産業医とで話し合った結果、当初の予定どおり、放射線治療中は午後だけの短時間勤務とし、職場では体調不良時の休憩場所を確保することとした。その後、ホルモン療法が予定されているが、体調を見ながら徐々に通常勤務に戻すことを計画した。産業医とは月1回の来社日に合わせて面談し、問題があればプランを見直すこととした。

○プランの見直し

放射線治療開始から2週間ほど経ったころ、Bさんから上司に対し、予想以上に倦怠感が強く、通勤が辛くなったため、しばらく休みたいとの申出があった。上司、人事、産業医で相談を行い、プランを見直すこととした。具体的には申出のとおりしばらく休業することと

し、B さんがいない間は人員を補てんすることとし、放射線治療終了後は店頭販売職として短時間勤務で復職することについて検討した。プランの見直しの検討にあたって、業務調整のため、治療スケジュールに変更はないか、主治医に確認する必要があったため、B さんは病院を受診した際に主治医に尋ねることとした。

主治医からは、倦怠感によくある症状であること、場合によっては放射線治療を 1 週間追加すること、放射線治療終了後に予定されているホルモン療法は通院頻度が少なくなる(3 か月に 1 回) ので、体調次第で短時間勤務での復職も可能であるだろうとの説明があった。

主治医の意見を踏まえ、B さん、人事、上司、産業医とで再度話し合い、放射線治療中の 3～4 週間は休み、放射線治療終了後、短時間勤務により復職し、体調に問題がなければ徐々に通常の勤務に戻るプランを作成することとした。また、治療が変わるタイミングや通院のタイミングにあわせて面談を行い、適時プランの見直しを行うこととした。

(3) その他留意事項

がん治療として薬物療法（抗がん剤治療）を行う場合がある。薬物療法を行う場合、副作用として、吐き気や免疫力の低下等のほかに、脱毛など、外見に関わる症状が出る場合がある。ウィッグ（医療用のかつら）をつける場合には更衣が難しい場合もあることから、服装等への配慮も重要である。

勤務情報を主治医に提供する際の様式例（勤務情報提供書）の記載例

医療機関が確認する際のポイント

労働者・事業者が作成する際のポイント

- どのような作業内容や作業負荷の仕事に従事する予定であるのかを確認
- 復職を予定している業務について、必要となる要件（立位、対人業務等）を確認

- 放射線治療中は少なくとも25回の通院が必要であり、労働者に通院時間の確保の方法を確認
- 通院には年次有給休暇を使わず、短時間勤務で対応する予定であることを確認

- 記載されている復職後の働き方について、問題がないか確認
- 特に意見を求められている点について確認**
- 立ち仕事であるなど、身体的な負荷がかかるため、短時間勤務であっても休憩等の配慮が必要であると判断
- 放射線治療後はホルモン療法を予定しているが、副作用の症状は個人差が大きいため、具体的な配慮事項に関する意見は現時点では記載できないと判断

- 署名漏れがないか確認
- 記載内容を踏まえながら、労働者に要望や不安の有無等について確認

〇〇〇〇 先生
 今後の就業継続の可否、業務の内容について職場で配慮したほうがよいことなどについて、先生にご意見をいただくための従業員の勤務に関する情報です。
 どうぞよろしくお願い申し上げます。

従業員氏名	〇〇〇〇	生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
住所	〇〇県〇〇市〇〇〇		
職 種	百貨店グループ会社 店頭販売職		
職務内容	百貨店の婦人服売り場にて接客 <input checked="" type="checkbox"/> 体を使う作業（軽作業） <input checked="" type="checkbox"/> 長時間立位 <input checked="" type="checkbox"/> 対人業務		
勤務形態	常昼勤務		
勤務時間	・10時00分～18時00分（休憩1時間） ・週休2日（土曜日・水曜日。ただし、繁忙期には土曜日勤務あり、水曜日以外の平日に振替休暇を取得） ・繁忙期には残業あり（2時間程度/日）		
通勤方法 通勤時間	電車・徒歩にて通勤、片道約50分		
休業可能期間	・〇〇〇〇年3月31日まで10日間の病気休暇の取得により休業が可能 ・病気休暇中は給与支給あり		
有給休暇日数	・有給休暇日数：残7日間 ・その他、年末年始休暇3日、夏季休暇5日取得可能です。		
その他 特記事項	放射線治療中は短時間勤務（14時～18時）での復職を検討中です。 店頭販売職であるため、勤務時間中は立ち仕事での接客が中心であり、休憩は交代で1時間ずつ取る予定です（昼休憩）。 体調管理や通院時間の確保のため、以下の点について教えていただけますと幸いです。 ・当面の治療スケジュールならびに治療が勤務に及ぼす影響について ・勤務時間中は立ち仕事での接客が中心となるが仕事を続けて大丈夫か、体調管理のための注意点、配慮すべきこと ・上記の注意点や配慮はどの程度の期間必要か		
利用可能な 制度	<input checked="" type="checkbox"/> 時間単位の年次有給休暇 <input checked="" type="checkbox"/> 傷病休暇・病気休暇 <input checked="" type="checkbox"/> 時差出勤制度 <input checked="" type="checkbox"/> 短時間勤務制度 <input type="checkbox"/> 在宅勤務（テレワーク） <input type="checkbox"/> 試し出勤制度 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

上記内容を確認しました。
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (本人署名) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (会社名) 〇〇〇〇
 担当：〇〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇〇

- 情報の提供・活用目的の明記が必要

- いずれは元の業務内容に復帰することを念頭に、具体的に仕事の内容を記載
- 作業負荷を伝えるため、長時間にわたり立ち仕事であること、対人業務があることを記載

- 通院や体調不良時などのために、年次有給休暇の利用可能日数を記載

- 労働者本人と話し合い、現時点で想定している復職後の働き方について記載し、事業者や労働者が悩んでいること、主治医に相談したいこと等、**特に主治医の意見がほしい点について明記**
- 業務調整のために、治療の今後の見通しについて質問

- 必要に応じて時間単位の年次有給休暇、時差出勤、短時間勤務制度の利用が可能であることを確認し、チェック

- 労働者本人が記載事項に齟齬がないかを事業者を確認した上で署名

- 主治医からの問い合わせに対応できるよう、担当者、連絡先を明記

職場復帰の可否等について主治医の意見を求める際の様式例（主治医意見書）の記載例

医療機関が作成する際のポイント

事業者が確認する際のポイント

- ・勤務情報提供書に記載されていた復職後の働き方について、現在の労働者の状況や治療の予定を踏まえ、復職についての検討が可能かどうか意見を記載
- ・勤務情報提供書「その他特記事項」に記載されていた質問事項に対する回答を記載
 - ・放射線治療でよくみられる副作用を記載するとともに、随時休憩が取れるよう配慮を求める意見を記載
 - ・ホルモン療法の予定を記載するが、具体的な副作用や必要な配慮事項は個人差があるため、状況に応じて配慮が必要である旨を記載
 - ・通院への配慮が得られるよう、通院頻度や通院に要する時間を明記
- ・措置期間は、症状や治療経過を踏まえ、上記の就業上の措置や配慮事項が有効であると考えられる期間を記載
 - ・措置期間は、事業者にとって、次に主治医に意見を求める時期の目安になる

患者氏名	〇〇〇〇	生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
住所	〇〇県〇〇市〇〇〇		
復職に関する意見	<input type="checkbox"/> 復職可 <input checked="" type="checkbox"/> 条件付き可 <input type="checkbox"/> 現時点で不可（休業：～ 年 月 日） ・手術後の経過は良好です。 ・今後、月曜日から金曜日の週5日、5週間にわたって計25回の放射線治療を行う予定です。治療の経過によっては、治療を5回程度追加する場合があります。 ・放射線療法後、経過が良ければ通院にてホルモン療法を行う予定です。 ・通院時間の確保、体調の変化への十分な配慮が必要です。		
業務の内容について職場で配慮したほうがよいこと（望ましい就業上の措置）	・放射線治療中は、人によって倦怠感が出たり、皮膚の痛み（やけどのようなピリピリ感）が出ることがあります。 ・立ち仕事をするのであれば、短時間勤務であっても疲れたときや痛みがあった時は随時休憩が取れるようにするなど、十分な配慮が必要です。 ・少なくとも放射線治療期間中は勤務時間への配慮、休憩を取りやすい環境が望まれます。 ・ホルモン療法では、人によって副作用（のぼせや気分障害等）が出ることがありますが、個人差があります。ご本人の体調に応じて適時ご配慮ください。		
その他配慮事項	・放射線治療のため、5～6週間、平日毎日通院が必要です。通院にはトータルで3時間ほど要します。 ・ホルモン療法中は3か月に1回の通院が必要です。また、経過観察のため、半年に1回、検査を行う予定です。 ・上記の通院時間の確保をお願い致します。		
上記の措置期間	〇〇〇年〇〇月〇〇日から6か月		
上記内容を確認しました。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (本人署名) 〇〇〇〇			

上記のとおり、職場復帰の可否等に関する意見を提出します。
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (主治医署名) 〇〇〇〇

(注)この様式は、患者が病状を悪化させることなく治療と就労を両立できるよう、職場での対応を検討するために使用するものです。この書類は、患者本人から会社に提供され、プライバシーに十分配慮して管理されます。

- ・今後の治療スケジュールを確認
- ・通院への配慮や体調の変化への配慮が必要である旨確認
- ・主治医への質問事項に対する回答を確認
 - ・短時間勤務での対応が可能である旨確認
 - ・休憩を取りやすい環境整備が必要である旨確認
 - ・ホルモン療法が予定されており、必要な配慮に関しては治療開始後、体調を見ながら調整する必要があることを確認
- ・通院のために必要な時間を確認
- ・ホルモン療法時は通院頻度が少なくなることや、副作用に個人差があることを念頭に、体調を見ながらプランの作成を検討
- ・ガイドラインで示された情報の取扱いに則り情報を取り扱う

職場復帰支援プランの記載例（初回プランの作成）

事業者が作成する際のポイント

作成日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

従業員氏名	〇〇〇〇〇	生年月日	〇〇〇年〇〇月〇日	性別	男・(女)
所属	〇〇〇〇〇	従業員番号	〇〇〇〇〇		
治療・投薬等の状況、今後の予定	・主治医意見書を踏まえ、〇〇〇年〇月〇日より復職とする。 ・復職後は今後25日間（場合によっては+5日間）、平日毎日の通院（通院にはトータルで3時間程度要する）が必要である。 ・治療に伴う体調の変化、通院時間確保のため、当面は短時間勤務とし、体調不良時の休憩場所（バックヤードや休憩場所等）を確保する。 ・放射線治療終了のタイミングで面談を行い、その後の働き方について検討する。				
期間	勤務時間	就業上の措置・治療への配慮等	(参考) 治療等の予定		
〇月〇日 ～ 〇月〇日 (6週間)	14:00 ～ 18:00	・通院、体調への配慮のため、短時間勤務とし、残業不可とする ・体調不良の際には随時休憩をとれるよう休憩場所を確保する	平日毎日通院・放射線治療 (症状:倦怠感、皮膚の痛み等)		
上記期間以降	10:00 ～ 18:00	・徐々に通常勤務に戻す予定 ・ホルモン療法開始後の詳細な働き方については関係者で協議	ホルモン療法の予定 (3か月に1回の通院予定) ほか、半年に一度の検査など		
業務内容	店頭販売職として接客にあたる				
その他就業上の配慮事項	・当面は放射線治療により倦怠感が出やすいため、体調に応じて、バックヤードや休憩室等において適時休憩を認める。				
その他	・月1回、産業医の来社日にあわせて面談し、問題があればプランを見直す。 ・職場の同僚に限り、治療のため1か月ほど短時間勤務となること、体調不良時には休憩をとることについて説明。(本人了承済み) ・上司においては、本人からの訴えや労働者の体調、仕事の状況について気になる点があればすみやかに人事部まで連絡のこと。随時プランの見直しを検討する。 ・放射線治療終了のタイミングで面談を行い、その後の働き方について検討する。 ・今後予定されているホルモン療法中はのぼせ、気分障害などの症状がでる可能性があり、状況に応じて必要な配慮を検討する。				

上記内容について確認しました。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (本人) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (所属長) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (人事部) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (産業医) 〇〇〇〇

- ・主治医、産業医の意見を勘案し、労働者本人との話し合いも踏まえ、職場復帰支援プランを作成
- ・平日毎日の通院があること、通院に要する時間を明記し、人事、上司、産業医、に限りプランを共有

- ・放射線治療中は通院・体調への配慮のため短時間勤務とし、放射線治療終了後は体調を見ながら徐々に通常勤務に戻すプランを設定
- ・短期的な目標として、最初の6週間程度は平日毎日の通院と短時間勤務での仕事を両立すること、長期的な目標として、通常勤務に戻ることを設定

- ・放射線治療中は倦怠感が出やすいとの主治医意見書を踏まえ、休憩場所の確保を明記

- ・産業医とは月1回の来社日に合わせて面談を行い、適時プランを見直す旨を記載
- ・放射線治療終了時に再度面談を行い、その後の働き方について検討する計画を明記

- ・関係者による協議・確認を終えた内容であることが分かるよう、署名

職場復帰支援プランの記載例（プランの見直し）

事業者が作成する際のポイント

作成日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

従業員 氏名	〇〇〇〇〇	生年月日	〇〇〇年〇〇月〇〇日	性別	男・(女)
所属	〇〇〇〇〇	従業員番号	〇〇〇〇〇		
治療・休業 等の状況、 今後の予定	・本人の申出、体調を踏まえ、放射線治療中は休業して治療・療養に専念する。 ・治療経過・体調に問題がない場合、別途面談を行い、復職に向けて協議する。 （現時点では放射線治療終了後、復職予定）				
期間	勤務時間	就業上の措置・治療への配慮等	（参考）治療等の予定		
〇月〇日 ～ 〇月〇日 （4週間）	休業	・休業により治療・療養に専念 ・放射線治療の経過が良好であれば復職に向けた面談の日程調整 を行い、今後の働き方について 協議予定	平日毎日通院・放射線治療 （症状：倦怠感、皮膚の痛み等）		
上記期間 以降	14：00 ～ 18：00 （予定）	・短時間勤務で復職予定	ホルモン療法の予定 （3か月に1回の通院予定） 半年に一度、検査通院あり		
業務内容	復職後は店頭販売職として接客にあたる（予定）				
その他 就業上の 配慮事項	復職後は体調に応じて、バックヤードや休憩室等において適時休憩を認める。				
その他	・休業中は本人の希望により、総務担当が窓口となり、メール、電話にて体調確認 などを行うとともに、復職に向けた面談の日程調整を行う。（予定：〇月第〇週 頃） ・月1回、産業医の来社日にあわせて面談し、問題があればプランを見直す。 ・今後予定されているホルモン療法中はのぼせ、気分障害などの症状がでる可能性 があり、状況に応じて必要な配慮を検討する。				

・労働者の申出を受け、休業する旨明記
 ・復職を検討するタイミング、面談の実施予定を明記

・休業中は治療・療養に専念する旨明記
 ・主治医意見書を踏まえ、放射線治療終了後は体調を
 見て面談を行い、具体的な働き方を検討することを
 明記（現時点の案として、短時間勤務で復職するこ
 とを記載）

・休業中の連絡は労働者と取り決めた方法により行う
 旨を明記
 ・面談の実施時期を記載
 ・今後予定されるホルモン療法に関して現時点では具
 体的な記載はできないため、状況に応じて配慮を検
 討する方針を記載

・関係者による協議・確認を終えた内容であることが
 分かるよう、署名

上記内容について確認しました。

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (本人) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (所属長) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (人事部) 〇〇〇〇
 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (産業医) 〇〇〇〇